

地域創造学類カリキュラムマップ(専門基礎科目)(令和4年度以降)

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される現代的諸課題に目を向け、それらを解決できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会、グローバルな共生社会、しなやかで折れない地域、将来にわたって持続発展する地域を実現するため、地域創造学の専門的知識と技術を修得し、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに意欲と責任をもって参加できる人材を、金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に立脚して育成する。また、海外の地域創造情報を自ら英語で収集し発信できる人材を育成する。金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、次の学修成果を達成した者に学士(地域創造学)の学位を授与する。
--------------------	---

専門基礎科目の学習成果	
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための地域創造学の専門的知識を修得している。
	理念目標・社会的責任 対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。＝地域創造目標
	現状理解・把握 対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。＝地域の現状把握
② 技能・表現	実践論・対処方法 対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。＝地域課題解決手法
	調査・分析方法 地域の諸課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。
③ 思考・判断	伝達技能 他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力と他者を繋げ合意形成に導くコーディネート能力を身につけている。
	地域や社会の諸問題を生活から制度・政策まで多角的に分析し考察できる。
④ 関心・意欲	地域の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。
⑤ 態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	<p>地域創造学類は、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり階層的な教育課程を編成し実施する。特に、地域課題科目群と地域創造科目群の選択的組み合わせによるプログラム制を導入し、学生の学修目標に沿った履修を実現する。</p> <p>1 地域を知る基礎的な方法やリテラシーを学ぶ学類基礎科目群</p> <p>2 地域とその諸問題を理解し、専門的知識を修得するための地域課題科目群</p> <p>3 学生自身の将来像を意識させ、地域づくりのリーダーとしての素養を修得する地域創造科目群</p> <p>4 地域を多面的に理解する調査や分析の方法を修得する演習及び実習科目群</p> <p>5 多様な地域課題に対処する能力を高め、総合性を担保するための高年次の地域創造学特別演習</p> <p>6 修得した知識と方法を統合的に発揮して自ら発見した地域課題に向かい合う卒業研究</p> <p>加えて、地域課題解決に実践的に取り組むための現地実習やインターンシップを配置し、フィールドワークによるプロジェクト学習や問題解決学習の手法を導入した実践的学修機会を用意する。また、学生の能動的学習を積極的に促すアクティブラーニングの手法を取り入れるとともに、外国語による地域創造に関する情報の収集と発信機会を提供する。</p>
------------------------------	--

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。  
【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果							
						理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	伝達技能	思考・判断	関心・意欲	態度
15041	地域創造学Ⅰ			1	1年	◎	◎				○		○
15042	地域創造学Ⅱ	地域創造学の基本的な内容と特徴を理解するとともに、誰もが生き生きと安心して暮らせる地域をつくるうえで、地域創造学がどのように活用できるかを、具体的な事例を通して理解する。	地域創造、人と自然の共生、地域協働、共生社会、公共政策、地域マネジメント	1	1年	◎	◎				○		○
15043	地域創造学Ⅲ			1	1年	◎	◎				○		○
15038	学類英語演習	海外の地域創造情報を収集し発信できる英語力を学生の主体的な演習によって修得する。	英語力、英語演習、TOEIC、Net Academy NEXT	1	2年					◎	○	○	
15044	学類基礎演習ⅠA			1	2年		◎	◎	◎		◎	◎	
15045	学類基礎演習ⅠB	地域課題科目群の各プログラムが扱う領域と課題について理解する。	地域課題、人と自然の共生、地域協働、共生社会	1	2年		◎	◎	◎		◎	◎	
15046	学類基礎演習ⅠC			1	2年		◎	◎	◎		◎	◎	
15047	学類基礎演習Ⅱ	地域課題科目群の各プログラムが扱う地域課題の具体的なトピックや研究方法について理解する。	地域課題、人と自然の共生、地域協働、共生社会、研究方法	1	2年		◎	◎	◎		◎	◎	
15048	地域創造インターンシップⅠ	自治体、NPO法人、まちづくり協議会、民間企業等において、当該地域に滞在しつつ、受け入れ組織が提案する課題について、助言を受けながら実践的に学修する。	自治体、NPO法人、まちづくり協議会、民間企業、地域課題、解決手法、体験的学修、現場体験	4	2年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
15049	地域創造インターンシップⅡ			1	1年	○	○	○	◎	◎	○	◎	◎
15050	地域創造インターンシップⅡ	学生の主体的なインターンシップ計画に基づいて、行政やまちづくりNPO、企業など民間団体が行う各種事業を現場で体験し、地域創造活動を実践的に学修する。	自治体、NPO、民間企業、市民、連携、政策立案、政策提言、問題発見、分析能力、現場体験	2	1年	○	○	○	◎	◎	○	◎	◎
15051	地域創造インターンシップⅡ			3	1年	○	○	○	◎	◎	○	◎	◎
15052	地域創造インターンシップⅡ			4	1年	○	○	○	◎	◎	○	◎	◎

地域創造学類カリキュラムマップ(専門基礎科目)(令和4年度以降)

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される現代的諸課題に目を向け、それらを解決できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会、グローバルな共生社会、しなやかで折れない地域、将来にわたって持続発展する地域を実現するため、地域創造学の専門的知識と技術を修得し、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに意欲と責任をもって参加できる人材を、金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に立脚して育成する。また、海外の地域創造情報を自ら英語で収集し発信できる人材を育成する。金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、次の学修成果を達成した者に学士(地域創造学)の学位を授与する。
--------------------	---

専門基礎科目の学習成果		
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための地域創造学の専門的知識を修得している。	
	理念目標・社会的責任	対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。＝地域創造目標
	現状理解・把握	対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。＝地域の現状把握
② 技能・表現	実践論・対処方法	対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。＝地域課題解決手法
	調査・分析方法	地域の諸課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。
③ 思考・判断	伝達技能	他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力と他者を繋げ合意形成に導くコーディネーション能力を身につけている。
	思考・判断	地域や社会の諸問題を生活から制度・政策まで多角的に分析的に考察できる。
④ 関心・意欲	地域や社会の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。	
⑤ 態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。	

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	<p>地域創造学類は、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり階層的な教育課程を編成し実施する。特に、地域課題科目群と地域創造科目群の選択的組み合わせによるプログラム制を導入し、学生の学修目標に沿った履修を実現する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域を知る基礎的な方法やリテラシーを学ぶ学類基礎科目群</li> <li>2 地域とその諸問題を理解し、専門的知識を修得するための地域課題科目群</li> <li>3 学生自身の将来像を意識させ、地域づくりのリーダーとしての素養を修得する地域創造科目群</li> <li>4 地域を多面的に理解する調査や分析の方法を修得する演習及び実習科目群</li> <li>5 多様な地域課題に対処する能力を高め、総合性を担保するための高年次の地域創造学特別演習</li> <li>6 修得した知識と方法を統合的に発揮して自ら発見した地域課題に向かい合う卒業研究</li> </ol> <p>加えて、地域課題解決に実践的に取り組むための現地実習やインターンシップを配置し、フィールドワークによるプロジェクト学習や問題解決学習の手法を導入した実践的学修機会を用意する。また、学生の能動的学習を積極的に促すアクティブラーニングの手法を取り入れるとともに、外国語による地域創造に関する情報の収集と発信機会を提供する。</p>
------------------------------	---

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。  
【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果							
						理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	伝達技能	思考・判断	関心・意欲	態度
15025	異文化体験(海外)I	海外の大学や研究機関、語学学校、NPO・NGO等のボランティア組織、民間企業など、異文化環境での生活体験を通して、異文化の理解を深め、海外での就業・活動経験を積み、外国語運用能力を向上させる。	異文化体験、異文化コミュニケーション、短期留学、語学研修、海外ボランティア、海外インターンシップ	1	1年		○	○		◎	○	◎	○
15026	異文化体験(海外)I			2	1年		○	○		◎	○	◎	○
15027	異文化体験(海外)I			3	1年		○	○		◎	○	◎	○
15028	異文化体験(海外)I			4	1年		○	○		◎	○	◎	○
15029	異文化体験(海外)I			5	1年		○	○		◎	○	◎	○
15030	異文化体験(海外)I			6	1年		○	○		◎	○	◎	○
15031	異文化体験(海外)I			7	1年		○	○		◎	○	◎	○
15032	異文化体験(海外)I			8	1年		○	○		◎	○	◎	○
15053	地域創造プロジェクト講義A	地域創造学に関連する先端的なトピックについて理解する。 地域創造に実践的に取り組んでいる講師から講義形式で学修する。	地域創造、先端的トピック、実践事例、解決手法、講義	1	1年	◎	◎	◎			○	○	
15054	地域創造プロジェクト講義B			1	1年	◎	◎	◎			○	○	
15055	地域創造プロジェクト講義C			1	1年	◎	◎	◎			○	○	
15056	地域創造プロジェクト講義D			1	1年	◎	◎	◎			○	○	
15057	地域創造プロジェクト講義E			1	1年	◎	◎	◎			○	○	
15058	地域創造プロジェクト講義F			1	1年	◎	◎	◎			○	○	
15059	地域創造プロジェクト講義G			1	1年	◎	◎	◎			○	○	
15060	地域創造プロジェクト講義H			1	1年	◎	◎	◎			○	○	
15061	地域創造プロジェクト講義I			1	1年	◎	◎	◎			○	○	
15062	地域創造プロジェクト講義J			1	1年	◎	◎	◎			○	○	
15063	地域創造プロジェクト演習A			1	1年	○	○	○	◎	◎	○	○	
15064	地域創造プロジェクト演習B			1	1年	○	○	○	◎	◎	○	○	
15065	地域創造プロジェクト演習C			1	1年	○	○	○	◎	◎	○	○	
15066	地域創造プロジェクト演習D	1	1年	○	○	○	◎	◎	○	○			
15067	地域創造プロジェクト演習E	1	1年	○	○	○	◎	◎	○	○			
15068	地域創造プロジェクト演習F	1	1年	○	○	○	◎	◎	○	○			
15069	地域創造プロジェクト演習G	1	1年	○	○	○	◎	◎	○	○			
15070	地域創造プロジェクト演習H	1	1年	○	○	○	◎	◎	○	○			
15071	地域創造プロジェクト演習I	1	1年	○	○	○	◎	◎	○	○			
15072	地域創造プロジェクト演習J	1	1年	○	○	○	◎	◎	○	○			

地域創造学類カリキュラムマップ(専門基礎科目)(令和4年度以降)

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される現代的諸課題に目を向け、それらを解決できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会、グローバルな共生社会、しなやかで折れない地域、将来にわたって持続発展する地域を実現するため、地域創造学の専門的知識と技術を修得し、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに意欲と責任をもって参加できる人材を、金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に立脚して育成する。また、海外の地域創造情報を自ら英語で収集し発信できる人材を育成する。金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、次の学修成果を達成した者に学士(地域創造学)の学位を授与する。	
専門基礎科目の学習成果		
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための地域創造学の専門的知識を修得している。	
	理念目標・社会的責任	対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。＝地域創造目標
	現状理解・把握	対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。＝地域の現状把握
② 技能・表現	実践論・対処方法	対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。＝地域課題解決手法
	調査・分析方法	地域の諸課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。
	伝達技能	他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力と他者を繋げ合意形成に導くコーディネーション能力を身につけている。
③ 思考・判断	地域や社会の諸問題を生活から制度・政策まで多角的に分析し考察できる。	
④ 関心・意欲	地域の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。	
⑤ 態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。	

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	<p>地域創造学類は、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり階層的な教育課程を編成し実施する。特に、地域課題科目群と地域創造科目群の選択的組み合わせによるプログラム制を導入し、学生の学修目標に沿った履修を実現する。</p> <p>1 地域を知る基礎的な方法やリテラシーを学ぶ学類基礎科目群</p> <p>2 地域とその諸問題を理解し、専門的知識を修得するための地域課題科目群</p> <p>3 学生自身の将来像を意識させ、地域づくりのリーダーとしての素養を修得する地域創造科目群</p> <p>4 地域を多面的に理解する調査や分析の方法を修得する演習及び実習科目群</p> <p>5 多様な地域課題に対処する能力を高め、総合性を担保するための高年次の地域創造学特別演習</p> <p>6 修得した知識と方法を統合的に発揮して自ら発見した地域課題に向かい合う卒業研究</p> <p>加えて、地域課題解決に実践的に取り組むための現地実習やインターンシップを配置し、フィールドワークによるプロジェクト学習や問題解決学習の手法を導入した実践的学修機会を用意する。また、学生の能動的学習を積極的に促すアクティブラーニングの手法を取り入れるとともに、外国語による地域創造に関する情報の収集と発信機会を提供する。</p>
------------------------------	--

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。  
【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果						
						理念目標・社会的責任	知識・理解 現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	技能・表現 伝達技能	思考・判断	関心・意欲
15073	地域創造プロジェクト実習A			1	1年	○	○	○	◎	◎	◎	○
15074	地域創造プロジェクト実習B	地域創造学に関連する先端的なトピックについて理解する。	地域創造、先端的トピック、実践事例、解決手法、実習	1	1年	○	○	○	◎	◎	◎	○
15075	地域創造プロジェクト実習C	地域創造に実践的に取り組んでいる講師から実習形式で学修する。		1	1年	○	○	○	◎	◎	◎	○
15076	地域創造プロジェクト実習D			1	1年	○	○	○	◎	◎	◎	○

開講されるクォーターは、年度ごとに公表される授業時間割表を参照してください。